

石割松太郎 （號號） 劇評家。明治十四年一月二十四日大阪生れ、昭和十一年六月二十九日没（二八八一—一九六六）。筆名「墨子」、石割獲入、石割屑葉等。明治二十八年早稻田大學文學部卒。諸新聞社を經て、大正八年大阪毎日新聞社に入り劇評擔當。昭和四年退社し、個人誌『瀟湘月刊』創刊。七年早大講師。

著書 『人形芝居雜話』（昭和五年十月八日春陽堂）、『人形芝居の研究』（昭和八年十月二十五日京都・更生閣）、『石割松太郎選集』（盛田嘉徳編）、『人形芝居の研究』（昭和十八年十一月十日、『文樂雜話』十九年一月十日大阪・修文館、『劇談抄』八月二十五日大阪・新日本圖書株式會社創立事務所）、隨筆 『世話の談義』（同、昭和二十二年二月二十日大阪・誠光社）等。